

国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第3号(平成30年12月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を
話し合う保存活用計画策定委員会の第6回会議を開催しました！

本かわら版は、委員会で話し合われた内容等を昭和町地区自治会連合会管内の
皆様にお知らせするため発行するものです。

平成30年11月30日に北区飛鳥山博物館にて第6回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回の委員会では、議題と報告が3つずつあり、その中の議題（3）整備活用に関する方向性について、様々な意見が出されました。

第6回委員会（平成30年11月30日）

議題

- (1) 計画書構成案について
- (2) 史跡の構成要素について
- (3) 整備活用に関する方向性について

報告

- (1) 中里貝塚委員会だより(かわら版)の発行
- (2) 地元勉強会等の報告
- (3) ワークショップの予定

主な意見

史跡の整備活用について

- 2ヶ所の指定地で「何をしたいか」、そのために「何が必要か」を再検討する。
- 飛鳥山博物館の活用も念頭に置きながら、「展示は博物館」、「体験は現地」というように、必要な機能を分けて考えてはどうか。

※第1～6回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。



●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

中里貝塚とは・・・国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリ
の干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



＜保存活用計画とは＞

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL : 03-3916-1133
<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>

